

# 中野区教育委員会会議録

令和8年第3回定例会

令和8年1月23日

中野区教育委員会

令和8年第3回中野区教育委員会定例会

○日時

令和8年1月23日(金)

開会 午前 10時00分

閉会 午前 10時40分

○場所

中野区役所7階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 田代 雅規

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

教育委員会委員 岡本 淳之

教育委員会委員 高野 治人

教育委員会委員 平本 紋子

○出席職員

教育委員会事務局次長 石崎 公一

参事(子ども家庭支援担当) 森 克久

子ども・教育政策課長 神谷 万美

学校地域連携担当課長 保積 武範

指導室長 井元 章二

学務課長 佐藤 貴之

子ども教育施設課長 原 太洋

○書記

教育委員会係長 藤井 玉枝

教育委員会係 網野 愛子

○会議録署名委員

教育委員会教育長 田代 雅規

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

○傍聴者数

3人

○議事日程

1 議決事件

(1) 第9号議案 令和7年度中野区教育委員会表彰表彰状被表彰者の決定について

(2) 第10号議案 中野区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

2 報告事項

(1) 教育長及び委員活動報告

① 1月12日 2026年中野区二十歳のつどい

② 1月16日 小学校長会との意見交換会

(2) 事務局報告

① 鷺の杜小学校の通学における歩道橋整備スケジュールの変更について（子ども・教育政策課）

○議事経過

午前 10 時 00 分開会

田代教育長

おはようございます。定足数に達しましたので、教育委員会第 3 回定例会を開会いたします。

それでは、議事に入ります。

本日の会議録署名委員は伊藤委員にお願いいたします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりです。

ここでお諮りいたします。

本日の議決事件の 1 番目、第 9 号議案「令和 7 年度中野区教育委員会表彰表彰状被表彰者の決定について」は、人事に関する案件ですので、非公開での審議を予定しております。したがって、日程の順序を変更し、第 9 号議案の審議につきましては、日程の最後に行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

田代教育長

ご異議ございませんので、日程の順序を変更し、第 9 号議案の審議を日程の最後に行うことといたします。

それでは、日程に入ります。

<議決事件>

田代教育長

初めに、議決事件の審査を行います。

議決事件の 2 番目、第 10 号議案「中野区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について」を上程いたします。

初めに、事務局から提案の説明をお願いいたします。

指導室長

それでは、第 10 号議案「中野区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について」ご説明をさせていただきます。

提案の理由といたしましては、中野区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の任期満了に伴い、委嘱する必要があるためでございます。

2 ページをごらんください。

1の任期でございますが、令和8年2月1日から令和9年8月31日までとなっております。

続きまして、2の委嘱委員でございますが、記載の5名でございます。このうち坂田委員と牧野委員につきましては継続。その他の3名の委員につきましては、新規の委嘱となります。

ご説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

田代教育長

ただいま上程中の議案につきまして、質疑がありましたらお願いいたします。

伊藤委員

ご説明ありがとうございます。簡単で結構なのですが、追加でこの方々がよいと思われる理由など、もしありましたら、短いコメントで結構ですので、教えていただければと思います。

以上です。

指導室長

坂田委員、牧野委員につきましては、これまでのご実績を鑑みて、継続をさせていただいたところでございます。

また、2番目にあります田伏弁護士、それから戸田弁護士も、こちらも中野区において、いじめ問題の調査部会の委員として、ご出席いただいているところでございますので、そのご実績を鑑みて、委嘱をさせていただきました。

また、心理の渡辺先生につきましては、これまで学校現場等でも、様々な問題解決にご尽力なさっていて、非常に能力の高い方であるということを確認しておりますので、その点で委嘱をさせていただいたところでございます。

田代教育長

ほかに、質疑はございますか。よろしいですか。

なければ質疑を終結いたします。

それでは、簡易採決の方法により採決を行いたいと思います。

ただいま上程中の第10号議案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

田代教育長

ご異議ございませんので、原案のとおり決定いたしました。

## <教育長及び委員活動報告>

### 田代教育長

次に報告事項に入ります。

初めに、教育長及び委員活動報告をいたします。

事務局から報告をお願いいたします。

### 子ども・教育政策課長

報告いたします。

1月12日、2026年中野区二十歳のつどい、田代教育長が出席されております。

1月16日、小学校長会との意見交換会、田代教育長、伊藤委員、岡本委員、高野委員、平本委員がご出席されております。

報告は以上です。

### 田代教育長

各委員から補足、質問、その他の活動報告がございましたらお願いいたします。

### 伊藤委員

小学校長会との意見交換会に出席いたしました。テーマは「授業改革」ということでございましたけれども、どのように先生方の授業力、あるいは指導力というのでしょうか、を高めるか、各校が工夫をされていることがよく伝わってまいりました。

また、校長先生方が心を砕いてくださっている部分につきましても明確になってきましたので、いろいろとバックアップも含めて、みんなで考えていければよいなと思いました。

以上でございます。

### 高野委員

私も小学校長会との意見交換会に出席いたしました。

テーマの「授業改革」についてですが、新人の育成・研修だけでなく、中堅の教育・育成についてもお話しいただきました。働き方改革で、勤務時間も短くなる中、工夫されていてよかったですと思います。

以上です。

### 平本委員

私も小学校長会との意見交換会に参加させていただきました。

私の班では若手の先生方の専門性を磨いて、こだわりを育てて、個の力を成長させていくことの難しさなどを中心に、様々な意見交換をさせていただきました。

先生方ももっと校外に出て、学び、交流していくことが大切で、そういった校外研修などに参加して刺激を受けた先生方を中心に、学校内で授業リーダーなどが育っていくことで、学校全体に学び続ける風土をつくれるとよいなということに加えて、先生方が異動して、学校に関わる人材の入れ替わりが発生したとしても、持続可能な仕組みを整備する必要があって、その中でコミュニティスクールの今の動きもうまく活用しながら、地域とともに、地域の皆さんにも授業改革の重要性を理解してもらって、一緒に進めていくことが鍵になるなと感じました。

加えて、我々教育委員会としても、若手の先生方の育成を支える仕組みづくりの部分でより貢献できるかなと思った一方で、学校のほうも若い先生方の力を信じて、もっと様々なことを早い段階で、任せていくというチャレンジがあってもよいのではないかなと思いました。

実際、我々の班の中でもそうした取組を通じて、若手の先生方が自信をつけていっている例があるというお話も聞くことができました。学校全体でそうした先生方の挑戦を歓迎して、失敗してもいいし、逆に失敗こそが授業改革のチャンスであるというような雰囲気づくりが中野区全体でできると、子どもたち自身も、様々な物事に挑戦していくような雰囲気も醸成されていくのかなと思いましたので、私たちも先生方と一緒に楽しむ気持ちを基盤において、新しい取組を進めていけたらいいなと感じました。

以上です。

岡本委員

小学校長会との意見交換会ですが、各委員おっしゃったように、各校それぞれが自分たちの課題を踏まえた研修を工夫していらっしゃるということはよくわかりました。自分たちの課題の見つけ方ということもあると思うのですが、校長先生と教職員の皆さんでつくっているということもわかりました。

私からは「教職員の皆さんの負担感はどうですか」。あと「成果の見取りってどうされていますか」。そして「同僚性の向上についてはどう気を配っていらっしゃいますか」ということをお尋ねしました。

特に同僚性については、全国公立学校教頭会の調査や、TALIS調査でも、日本の先生方の同僚性が下がっているのではないかという結果が出ていまして、ちょっと心配していたところです。

校長先生方からは、メンター・メンティーのグループをつくることで、お互いに忌憚なく

意見を言い合える関係になっているというお話であったり、いろいろな学年が混ざりながら研修をしていて、協議会ではコラボノートで、オンラインで誰でもいろいろな意見を言い合えるようにしているといったお話がありました。特に若い先生はベテランの前で萎縮をしてしまうので、校長先生から若い先生に「とんちんかんなことでも言ってもいいから」と。平本委員がおっしゃっていましたが、失敗してもいいからということのを常に発信しているというお話があって、これも大切だなと思いました。

一つ、気になったのが、中学校区で研究テーマを持って研究を進めているというお話がありました。教育委員会事務局から進めているお話だと思うのですが、中学校区ごとに、幼稚園があるところは幼稚園、または小学校、中学校の先生方でお互いの授業を見合っ、感想を言い合っているという取組で、これはとてもポジティブだと受け止めましたが、これまでの区として進めてきた保幼小中連携とは、あまり関連性を皆さん感じていらっしゃらないように受け止めました。いろいろな場面で、いろいろなことをしていると、收拾がつかなくなっていくので、誰にとってもわかりやすく、取り組みやすくなるように、すっきり整理していければなど今後を考えました。

また、せっかく中学校区ということで、やるのであれば、学校運営協議会もここに関連して、地域で学校教育をどう支えていくか、こういったことも関連していければなど思いました。

以上です。

田代教育長

ほかに追加で各委員から報告はございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、最後に私のほうから、1月12日に行われました2026年中野区二十歳のつどいについて報告いたします。

中野区二十歳のつどいが、なかのZEROホールの大ホールで開催されました。

今年度の対象者は約3,200人ということでした。中野区の公立・私立の中学校の卒業生は約2,000人で、あとは、その後に中野区に転入して来られた人たちということでした。

中野区では、実行委員が中心となり、会の企画から運営まで行っていました。今回は中野区にちなんだクイズ大会と、中学生、高校生の時代を中野区で過ごされた女優の上白石萌音さんからのビデオメッセージの紹介がありました。参加した人たちの態度もとてもよく、和やかでよい会でした。

また、多くの小中学校から、お世話になった先生方からのビデオメッセージが流されて、

参加者もとても喜んでいました。やはり会の中で、中野区歌の全員合唱が一番盛り上がっていたような気がしました。

その他発言がなければ、活動報告を終了いたします。

<事務局報告>

田代教育長

続いて、事務局報告に移ります。

事務局報告の1番目「鷺の杜小学校の通学における歩道橋整備スケジュールの変更について」の報告をお願いいたします。

学校地域連携担当課長

それでは、「鷺の杜小学校の通学における歩道橋整備スケジュールの変更について」ご報告をさせていただきます。

本件については、来週1月28日の、閉会中の子ども文教委員会でも同様の内容を報告する予定です。

これまで児童の安全で円滑な通学環境を確保することを目的とし、鷺の杜小学校への通学専用歩道橋整備に向けて、昨年度は概略設計を実施してまいりました。今年度は詳細設計をする予定でしたが、詳細設計に着手する前段階において、追加の検討調査を要する事項が判明したため、歩道橋整備スケジュールの変更について、以下のとおり報告いたします。

「判明した検討・調査を要する主な事項」をご覧ください。概略設計時では120トン吊りクレーンによる歩道橋の一括架設を想定しておりました。しかし、搬入経路として計画していた道路、こちらが耐荷重の制約から、安全な通行を確保することが困難であることが判明しました。

(2)をごらんください。それに伴い120トン吊りクレーンが利用できないということになりましたので、歩道橋の一括の架設が困難となりました。

「今後の予定」です。重機の搬入経路、また施工方法の検討、工事概算費用の算出、工事工程など、詳細設計に必要な前提条件を明らかにするための予備設計を行います。こちらの施工方法の検討というのは、これまでは一括架設と考えていましたが、分割で施工することを想定して、検討するものとなります。

今後のスケジュールになります。当初の整備スケジュールにつきましては、令和10年度以降に供用開始することを予定しておりましたが、予備設計を実施することに伴い、スケ

ジュールを後ろ倒しさせていただくこととなります。具体的な変更後のスケジュールについては、予備設計の完了後に改めてご報告する予定でございます。

ご報告は以上です。

田代教育長

ただいまの報告につきまして、質問やご発言がありましたらお願いいたします。

伊藤委員

ご説明ありがとうございます。いつも子どもたちの安全のためにご尽力いただいて、心より感謝申し上げます。

昨今、道路が陥没するとか、いろいろ想定外のことが起きる中で、やはり今回、道路の耐荷重というのは、予想が難しかったことではないかなと考えております。

ただ、しかしながら子どもたちは、安全な通学方法が増えることを待っていると思うので、そういう点では、こういった予定の変更がないようにするために、もし今後予防的にできることが、今回のことから学ぶ教訓としておありでしたらば、簡単で結構ですので教えていただきたいなと思いました。

もう一つはコメントでございますけれど、やはり安心安全な住みやすいまちづくりということには、企業等もご協力いただく必要があるところかと思えます。西武鉄道とはご協議いただけているということですので、よかったなと思うのですが、今後も綿密にご協議いただいて、ぜひいろいろな人の協力の中で、子どもたちの楽しい学校生活が少しでも早くサポートされるように願っております。

以上です。

学校地域連携担当課長

今回のことについての反省点としては、庁内の知見が合わさるよう部や課を越えて取り組むということと認識しております。今年度は施設課、道路課、それからまちづくり事業課と、3つの部をまたいだPTを作成して進めてきました。

その中で近隣の工事をした経験や、知見が生きてきたというところはございます。

また、昨年度以上に、今年度は西武鉄道、また東京都やJ K Kなど打合せの回数を重ねることもできまして、より具体的に話も進んだと思っております。中野区だけではできないので、関係事業者等と力を合わせながら、前向きにこの事業について進めていきたいと考えているところでございます。

伊藤委員

ご説明ありがとうございます。特に今回、様々な課の方がご協力くださったということをととても心強く思いました。

やはりいろいろな知見がいろいろなところにあるのだと思いますので、最初からというのはなかなか難しいとは思いますが、課をまたいでというか、様々なところにある知見を合わせていただいて、今後のスケジュールにつきましても、安全かつ工夫ができるような形になることを期待したいなと思いました。

ご尽力、本当にありがとうございます。

岡本委員

念のための確認なのですが、駅の反対側、北側からの工事というのは難しいのでしょうか。

例えば、グラウンドを一時的に使用できないようにして、クレーンを入れて工事をするなどについてなのですが。

学校地域連携担当課長

その件に関しては、まず近隣の道が狭いということで、120 トンクレーンだと切り返し難しい状況です。

また、グラウンドを使った場合、かなりの長期間にわたってグラウンドが使えなくなるということもありますので、可能な限り、子どもたちが活動する機会を失わないということを考えて、逆側から工事を行うということをもまず第一に考えている次第でございます。

平本委員

丁寧に進めていただきまして、ありがとうございます。再発防止の検討もしていただいたので安心いたしました。

課をまたいで検討していただくということで、大丈夫だと思うのですが、今回また改めて全体を見直すということだと思いますので、見逃してはいけない論点の事前洗い出しをできればやっていただいて、必要に応じて現地調査をより綿密に実施するなど、丁寧にまた進めていただけるとありがたいなと思っております。

質問ですが、スケジュールの変更については、より明確になった時点で、また近隣や保護者の皆様への説明も実施していただけるという予定でしょうか。

学校地域連携担当課長

学校関係者の方には通知を出したいと考えております。また、町会連合会のほうにもご

説明にはまいりたいと考えているところでございます。

分割で施工するという事で期間が長くなることも想定されます。より具体的になってから皆様には説明をするなど取り組みを進めていきたいと考えているところでございます。

高野委員

いろいろ詳しいご説明ありがとうございます。供用開始が遅くなるということは非常に残念なのですが、できるだけ早くに供用開始できるようにお願いしたいと思います。

質問ですが、工事されている、クレーンが置いてある間というのは、この南側のグラウンドは使用が禁止されるということでしょうか。その場合、今も結構少年野球とかで使っていると思うのですが、その代わりに代替のグラウンドなどは考えていらっしゃるのでしょうか。

学校地域連携担当課長

改めて、予備設計により内容が具体的に変わった後に調整をしていきたいと考えております。

伊藤委員

工事期間が長くなるということ、あるいは後ろ倒しになるということがあるわけですが、念のためのご質問なのですが、その間も現状の踏切を渡るということの安全性というのは確保されていらっしゃると思うのですが、そこを確認できると、子どもたちも歩道橋はないけれども、安全に通学できるということがあるので、安心かなと思いました。

もう一つはコメントでございますけれども、本当に予定が今後、今はわからないということがあるわけですが、もしかしたら何らかの形で中間段階におきましても、誠実に対応する中で、予期せぬことが起こっているというところを共有いただいて、皆様にご理解いただくという方策も、もしかしたらあるのかなということを少し思いました。

以上です。

学校地域連携担当課長

現在、第2踏切のほうは登校、下校時4名にて見守りを行っており、安全に踏切を渡っていると認識しております。

予備設計が終わり次第、また金額や期間などについては明確になると考えております。その際は、改めて皆様にご報告しながら段階を経て進んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

田代教育長

ほかに質問やご発言ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは、本報告は終了いたします。

<議決事件>

田代教育長

ここでお諮りをいたします。

議決事件、第9号議案「令和7年度中野区教育委員会表彰表彰状被表彰者の決定について」は、人事に関する案件を取り扱うこととなりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定に基づき、会議を非公開としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

田代教育長

ご異議ありませんので、非公開とすることに決定いたしました。

それでは、傍聴の方々のご退室の前に、事務局から次回開催について報告をお願いいたします。

子ども・教育政策課長

次回の教育委員会は、1月30日金曜日、11時から区役所7階教育委員会室で行います。

10時から11時まで、幼稚園長会との意見交換を行っていますので、傍聴受付が11時前後になりますことをご了承ください。

諸事情により、急遽変更になる場合がございます。中野区ホームページにてご確認をお願いいたします。

田代教育長

それでは恐れ入りますが、傍聴の方々は、ここで会場の外へご退室をお願いいたします。

(傍聴者退席)

(以下、非公開)

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、教育委員会第3回定例会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

午前10時40分閉会